令和6年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門・高等部	学 年	1 年	
教科等名	日常生活の指導	学習グループ（教育課程）	1 A（自立）	
ねらい	(知・技)安定した姿勢をとり、リラックスして食事をする。 (思・判・表)教員の働きかけに協力し、健康の促進に努める。 (主)友達を意識して活動に取り組む。			
担当教員	教員：松木克美 相木榛果 大原勇人 清宮衛介 島田篤弘 C G：影山純子 平田篤子			
年間授業時数	189 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	個に応じた取り組みを行う。 排泄指導 摂食指導 (通年)	189	○排泄指導 ◆オムツ替えの際に協力動作をできるようになる。 ◆排泄リズムの確立を図る。 ◆個々の生徒に合わせた排泄指導を行う。 ○摂食指導 ◆安定した姿勢、呼吸状態で安全に水分の摂取や食事を行うことができるようになる。 ◆安全に食事を行う為に、給食前に身体の取り組みを行う。 ◆口唇の動かし方等、適切な食事に関する動作を身に付ける。 ◆衛生管理に気を付け、安全に注入を行う。 ◆食後の衛生管理（歯磨き等）をしっかり行い口腔衛生を保てるようになる。 ◆介助者による歯磨きを受け入れられるようになる。	・体調を十分に把握して日々の指導を行う。 ・外部専門家による摂食診断を適宜指導に反映させる。 ・個々の生徒の実態の変化に応じた取り組みを設定する。
5				
6				
7				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年
教科等名	国語・数学		学習グループ（教育課程）	1 A（自立）
ねらい	(知・技)身近な言葉や素材に触れて、物事のイメージを広げる。 (思・判・表)物語や詩を通じて、様々な言葉や表現に触れる。 伝えたい気持ちや思いを育て、コミュニケーションの幅を広げる。 (主) 個別学習では生徒がそれぞれの課題に主体的に取り組む。			
担当教員	教諭：相木榛果 松木克実 大原勇人 島田篤弘 清宮衛介 CG：影山純子 平田篤子			
年間授業時数	74 単位時間			
使用教科書	五味太郎・言葉図鑑⑥くらしのことば 偕成社			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	物語や詩に親しもう①	7	○春や夏に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。	・具体物を中心に用いて経験を深める。 ・生徒の実態に合わせて姿勢や教材の提示方法を考慮する。 ・生徒の実態に合わせて全体指導と個別指導を行う。
5	図書室に行こう①	6	○読み聞かせ（物語、詩等）と再現活動。 ◆対象を注視する。様々な物に触れる。 ◆言葉のリズムや響きを感じ、物語や詩を見たり聞いたり、教材に触れたりすることができる。	
6	身近な言葉や数量・形	6	○図書室の利用。◆本に親しむ。 ○身近な物の名前。数唱。 ◆基本的な数、形、量を体験し、知る。	
7	個別・小集団課題学習①	7	○スイッチ課題、プットイン課題、積み木等 ◆個別課題学習のねらいを達成する。	
9	図書室に行こう②	7	○図書室の利用。教員と本を選び、借りる。 ◆様々な本に親しむ。	
10	物語や詩に親しもう②	7	○秋や冬に関連した内容について見たり、聞いたり、教材に触れたりする。 ○読み聞かせ（物語、詩等）と再現活動。 ◆対象を注視する。感覚や感触を楽しむ。 ◆言葉のリズムや響きを感じ、物語や詩を見たり聞いたり操作したりすることができる。	
11	やり取りの中の言葉や数量・形	4	○教員や友達とのやり取り。物の操作等。 ◆物を媒介としたやり取りを体験する。	
12	個別・小集団課題学習②	10	◆基本的な数、形、量を体験し、知る。 ○プットイン課題、積み木、型はめ等 ◆個別課題学習のねらいを達成する。	
1	図書室に行こう③	5	○図書室の利用。教員と本を選び、借りる。 ◆たくさんの本に親しむ。	・生徒の実態に合わせて姿勢や教材およびその提示方法を考慮する。 ・生徒の実態も考慮しつつ、いろいろな友達と関わられるよう座席配置等に配慮する。
2	書初め	5	○冬や春に関連した物語等を見たり、聞いたり、教材に触れたりする。	
2	物語や詩に親しもう③	5	○読み聞かせ、再現活動、書初め等。 ◆対象を注視する。感覚や感触を楽しむ。 ◆物語や詩を見たり聞いたり教材を操作したりすることができる。	
3	個別・小集団課題学習③	5	○プットイン課題、積み木、自動販売機の利用等。 ◆個別課題学習のねらいを達成する。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年		1 年	
教科等名		美術		学習グループ（教育課程）		1 A（自立）	
ねらい		(知・技)色や形の違いなど造形的な見方について理解し、材料や用具を使って表す。 (思・判・表)色や形など造形的な良さや美しさを感じ取りながら、自分なりのイメージをもち、表現力を高める。 (主)美術の創造活動の楽しさや喜びを味わい、すすんで活動に取り組む。					
担当教員		教員：松木克美 相木榛果 大原勇人 清宮衛介 島田篤弘 CG：影山純子 平田篤子					
年間授業時数		79.5 単位時間					
使用教科書		うつくしい絵 偕成社					
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）			指導の工夫	
4	【絵画】 塗り重ねて描こう	14	○水性絵の具を使って描く ○さまざまな素材や道具を使って描く。 ◆絵の具を手で直に触った感触や描く感覚(腕を伸ばす感覚)を感じながら制作する。 ◆絵の具の匂いなど五感で味わいながら制作する。			・描画の際は生徒の実態に応じて個別に支援具を使用する。	
5							
6	【立体制作】 ランプシェードを作ろう	16	○和紙をちぎったり、貼ったりしてランプシェードを作る。 ◆好きな色のセロハン等を選んで、自分なりのイメージをもって制作する。 ◆手で和紙をちぎったり、貼ったりして和紙の感触を感じ取りながら制作する。			・制作の前には身体の緊張をほぐす体操を取り入れ学習する姿勢を作る。	
7	私費：和紙、風船 カラーセロハン等						
9	【絵画】 回転版画Ⅰ 版画で表そう	14	○版画の作り方を理解しながら制作する。 ◆紙を重ねてこすることによって色が移る因果関係に気付きながら制作する。 ◆材料の感触を感じ、自分から腕や手を動かすことによって版作りや、刷りを行う。			・順次、同じテーマで少しずつ要素を変えていき、生徒が主体的にできることを増やす。	
10	私費：回転版画セット→万華鏡とバッグでも使用する						
11	【モダンアート】 色のハーモニーを感じよう	10	○ドリッピング、ビー玉転がしなどの技法を作って黒い紙に蛍光色で着彩する。 ◆手の動きで色が着くことに興味をもつ。 ◆色の対比を感じ取る。			・音や触覚などの感覚刺激を適宜取り入れ、制作への意欲を喚起するとともに、美術への関心を深める。	
12	【映像】 万華鏡を見て表そう	7	○映像の鑑賞と表現 ◆光と色を感じ取り映像に関心をもつ。 ◆折り染めや版画（墨版）の技法を使って表す。				
1	【染色】 絞り染めをしよう	9	○布を結束バンドで絞り、染料で染める。 ◆布素材の感触を味わう。 ◆表れた模様に関心をもつ。			・実態に合わせて、扱いやすい道具や画材を考慮しながら制作する。	
2	私費：染料、布等						
3	【デザイン】 作品バッグを作ろう	9.5	○スチレン版にヘラで跡を付け、版を回転させて刷る。 ◆回転する模様に関心をもつ。				
	私費：布バッグ						

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門・高等部	学 年	1 年
教科等名		音 楽	学習グループ（教育課程）	1 A（自立）
ねらい		(知・技)音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)音や音楽に気付きながら関心や興味をもって活動できる。 (主)音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。		
担当教員		教員：清宮衛介 島田篤弘 松木克美 相木榛果 大原勇人 CG：影山純子 平田篤子		
年間授業時数		72.5 単位時間		
使用教科書		和楽器にチャレンジ1 和太鼓を打ってみよう 汐文社		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・はじまりとおわりの歌を歌おう	8.5	○はじまりの歌・おわりの歌（通年） ◆授業の始まりと終わりを意識する。 ○発声練習「大きく“あ”」 ◆ピアノの伴奏に合わせて自分なりの発声や表出をすることができる。 ○歌唱（季節の歌） ◆伴奏を聴いて発声や表出をすることができる。 ◆季節のイラストなどを見て、季節感を感じ取ることができる。	・毎時間繰り返し学習することで、自発的な発声や表出を引き出す。
	・発声練習「大きく“あ”」	8		
	・季節の歌にふれよう	8		
4	・音楽鑑賞 ・楽器を鳴らそう	8	○鑑賞 ◆歌や映像に興味をもって聴いたり、身体を揺らしてみたり、意欲的にいろいろな音楽活動を体験しようとする。 ○器楽 ◆様々な楽器の音色を聴いたり、楽器を鳴らそうとしたりする。 ◆教員と一緒に楽器を鳴らしてみたり、自分なりの鳴らし方をしたりする。 ◆集中して音を聴くことができる。気持ちを落ち着けて、音楽の響きを感じることができる。	・映像を効果的に使い、個々の興味関心や集中力を引き出す。 ・活動を楽しむ中で、生徒からの発声を引き出す。 ・個々の生徒に合わせた使いやすい道具。 ・役割、順番交替場面や友達に注目される場面を設定する。 ・授業や友達の様子に注意を向ける働きかけを行う。 ・個々の発達段階に応じて細かな課題を設定する。
5				
6				
7				
9	・楽器を鳴らそう	8	○器楽 ◆様々な楽器の音色を聴いたり、楽器を鳴らそうとしたりする。 ◆教員と一緒に楽器を鳴らしてみたり、自分なりの鳴らし方をしたりする。 ○ダンス 「しかもと音頭」 ◆曲のリズムに合わせて、教員と身体の部位を動かすことができる。	
10	・音楽に合わせて身体を動かそう	8		
11				
12				
1	・リズムを楽しもう	8	○器楽 ◆打楽器を直接手や身体を使って鳴らし、補助具などを使用して自分自身で自発的に音を鳴らす。 ○合唱曲「にじ」 ◆普段の歌唱に手話を取り入れて、教員と一緒に「にじ」の手話を表現することができる。	
2	・手話歌をやってみよう	8		
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部	学 年	1 年		
教科等名	保健体育	学習グループ (教育課程)	1 A (自立)		
ねらい	(知・技) 身体を動かすことを楽しみ、主体的に活動できるようになる。 (思・判・表) 集団での活動を通して、友達や教職員と関わり、コミュニケーション能力の向上を図る。 (主) 活動を通して、運動機能の維持、向上を図る。				
担当教員	教員：松木克美 相木榛果 大原勇人 島田篤弘 清宮衛介 CG：影山純子 平田篤子				
年間授業時数	72 単位時間				
使用教科書	21世紀幼稚園百科⑪からだのふしぎ (小学館)				
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫	
4	準備体操	3	○身体ゆさぶり、身体のリラックス、教職員との触れ合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりと身体の動きを確認しながら行う。 ・個々に合わせて適切に設定する。 ・体重移動を感じられるようゆっくりと行う。 ・健康状態に合わせて活動時間を調整する。 	
5	リトミック	13	◆身体をリラックスさせ、身体を動かす楽しさ、心地よさを感じる。		
6	体育発表会の練習 (シュート)		○シュート ◆個々の課題を達成する。 ◆スタートの合図を聞き、時間内にシュートできるようにする。		
7	水泳指導	4	○水慣れ、浮遊 ◆水中で身体の緊張を緩める。		
9	準備体操	3	○身体ゆさぶり、身体のリラックス、教職員との触れ合い ◆身体をリラックスさせ、身体を動かす楽しさ、心地よさを感じる。		<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態に合わせて活動時間を設定する。 ・体重移動を感じられるようゆっくりと行う。 ・活動について事前に使う用具を見せたり大人がやって見せたりして、具体的に説明する。
10	水泳指導	7	○水慣れ、浮遊 ◆水中で身体の緊張を緩める。		
11	デフリンピック (ボウリング)	24	○デフリンピックを知ろう。 ◆デフリンピックの映像を見て、様々な競技を知る。 ◆デフリンピックの競技 (ボウリング) を経験する。		
12	準備体操	3	○身体ゆさぶり、身体のリラックス、教職員との触れ合い ◆身体をリラックスさせ、身体を動かす楽しさ、心地よさを感じる。		
1	球技 (ハンドサッカー)	6	○ハンドサッカー ◆目標物を意識してシュートする。	<ul style="list-style-type: none"> ・心地良さを感じられるようゆっくりと行う。 ・活動について事前に使う用具を見せたり大人がやって見せたりして、具体的に説明する。 	
2	球技 (ボッチャ)	9	○ボールを押し出す、転がす ◆ボールに働きかけ、教員や友達と関わりながらスポーツの楽しさを知る。ゲームを通して目標物や友達の様子に視線を向ける。		
3	まとめの活動	2	○1・2学期の活動の振り返り ◆身体のいろいろな使い方を振り返り、楽しみながら身体を動かす。		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年
教科等名		生活単元学習		学習グループ (教育課程)	1A (自立)
ねらい		(知・技) 季節や行事に合わせた物作りや体験をし、季節の違いや雰囲気を理解する。 (思・判・表) 活動を通して気持ちや考えや要求を表現する。 (主) 活動を通して、友達や教職員とのコミュニケーションを広げ主体的に取り組む気持ちが育つ。			
担当教員		教員：大原勇人 相木榛果 島田篤弘 清宮衛介 松木克実 CG：影山純子 平田篤子			
年間授業時数		113.5 単位時間			
使用教科書		こどもマナーとけいご絵じてん 小型版 (三省堂)			
月	単元 (題材名)	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫	
通年	読書活動	8	○読書活動 ◆読書をすることに興味・関心をもつ。	・季節や実生活を意識した多様で豊かな経験ができるようにする。 ・素材に直接触れながら、スイッチや補助具も用いて、自らすすんで活動に取り組もうとする気持ちを引き出す。	
	古新聞のリサイクル制作活動	7 12	○古新聞のリサイクル活動 ◆作業や仕事をする力を高める。 ○教室や廊下への季節にちなんだ掲示物作成 ◆季節を感じて素材の変化に気づき意欲的に活動する。		
4	野菜や植物を育てよう	8	○屋外での栽培活動 ◆屋外に出て外気に触れ、温暖な空気を身体で感じる。 ◆土や植物 (種・苗・果実等) に触れるなど自然に親しむ体験を積み重ねる。	・生徒の表情、発声、発語、言葉などを丁寧に取り表出で応える過程を通して、コミュニケーション力を高める。 ・必要な身体介助をしながら、自分でできることを増やし、達成感を味わえるようにする。 ・安全管理に配慮して行う。	
5	社会見学事前事後学習	8	○社会見学事前事後学習 ◆学習内容について知る。 ◆行事の後には発表の内容を振り返る時間をもち、共に作り上げた気持ちを共有する。		
6		12	○フェルトボール作り ◆羊毛に触れ感触を知り、シェーカーを振る動作などを体験する。		
7	フェルトボールをつくろう				
9	タデアイ生葉で叩き染めしよう	12	○タデアイ生葉を使った叩き染め ◆木づちなどの道具の使い方を身に付ける。		
10	ALT・英語学習	6	○英語の歌、身体活動など ◆外国語の響きやリズムに慣れる。		
11		16	○収穫した野菜の活用 ◆収穫の喜びを感じ、自分で作った野菜の形、匂いなどを感じて親しむ。		
12	野菜や植物を収穫して活用しよう	8			
1	墨絵に親しもう		○書道に親しむ。 ◆墨の匂いや体を大きく動かして描く感覚を味わう。		
2	バスボムをつくろう	8 8	○バスボム作り。温浴活動 (手湯、足湯) で身体を温める ◆バスボムが変化する様子に気付く。 ◆お湯の温かさを体感し気持ちを表出する。 ◆お湯に一定時間体を浸すことに慣れる。		
3	卒業生を送ろう		○授業で作った作品などを卒業生にプレゼントする。 ◆相手に向けてプレゼントを渡すことで卒業生との関わりを意識する。		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年
教科等名	特別活動・ホームルーム活動	学習グループ（教育課程）		
ねらい	(知・技) 学年の友達との関わりを通し、コミュニケーション能力や社会に必要な知識やマナーを身に付ける。 (思・判・表) 豊かな人間関係を築く。 (主) 友達や教職員とのコミュニケーションを広げ主体的に活動できる。			
担当教員	教員：新田真 松木克美 相木榛果 大原勇人 島田篤弘 清宮衛介 C G：影山純子 平田篤子 井上智佳子			
年間授業時数	40 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	高等部のスタート	5	○1年生の集団紹介、1年間の行事紹介、係活動決め等 ◆高等部での活動や友達・教職員を知り、新たに始まる学校生活を意識する。	・学年の友達との関わりを通し、豊かな人間関係を築く活動を設定する。 ・行事に合わせた活動を設定する。 ・個々の自主性を引き出すために、活動内容を生徒が決める機会を設定する。
5	体育発表会に向けて	5	○体育発表会に向けて練習や準備を行う。 ◆本番に備えて期待感を膨らませる。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
6	レクリエーション活動①	4	○生徒が主体的に選んだゲームのレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりを深める。	
7	移動教室に向けて	3	○移動教室に向けて準備をする。 ◆日程や場所を知り、目標や係等を決める中で宿泊の見通しをもつ。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
9	移動教室に向けて	3	○移動教室に向けて準備をする。 ◆日程や場所を知り、目標や係り等を決める中で宿泊の見通しをもつ。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
10	レクリエーション活動②	9	○生徒が主体的に選んだゲームのレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりを深める。	
11				
12	学期のまとめ	1	○2学期の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆次学期につながる振り返りを行う。	
1	レクリエーション活動	9	○ボッチャ等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりをさらに深める。	
2	1年のまとめ	1	○一年間の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆今年度を振り返ることで次年度に繋げる。	
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部	学 年	1 年	
教科等名	自立活動	学習グループ (教育課程)	1 A (自立)	
ねらい	<p>(知・技) 健康を保持し、基本的な生活習慣を形成し、元気に学習を続けることのできる基礎的体力をつける。(健康の保持)</p> <p>(知・技) 日常生活に必要な身辺処理に関する動作や学習のための動作を身に付ける。</p> <p>(思・判・表) 学習を通じて、教員との一対一のかかわりを深める中で、心理的安定を図り、コミュニケーション能力を高める。(情緒の安定、コミュニケーション)</p> <p>(主) 身体のリラクゼーションや運動・動作を通じて体の変形、障害の進行を防止する。(健康の保持、身体の動き)</p>			
担当教員	教員：松木克美 相木榛果 大原勇人 清宮衛介 島田篤弘 CG：影山純子 平田篤子			
年間授業時数	449 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	個に応じた課題の取り組み	449	○ 衣服の調節 ◆ 衣服の着脱等の身支度を、生徒の実態に応じて、自分のできる範囲で行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の体調を、十分に把握して、日々の指導を行う。 ・必要に応じて、検温や聴診など保健室と連携して、丁寧に健康観察を行う。 ・季節によって、加湿器やネブライザーを使用し、取り組む。 ・補助具や写真カードを使用して、生徒が自分から活動できるようにする。 ・生徒の実態に応じて、課題を段階的に設定する。 ・生徒の興味をもてるような題材を設定し、教材を工夫する。
5	健康の保持		○ 水分補給 ◆ 適切な水分を摂取する方法を身に付ける。	
6	身辺処理		◆ コップの準備や後片付けなどに取り組む。	
7	からだの取り組み		○ リラクゼーションや筋緊張の緩和 ◆ 姿勢変換や身体ストレッチを通して、緊張を緩和し関節の変形や拘縮の予防を図る。	
9			○ 排痰の取り組み ◆ 加湿等を実施し、うつ伏せ位等の姿勢をとることで、痰の排出を促す。	
10	コミュニケーション		○ 歩行 (介助歩行) ◆ 適切な歩行方法を身に付け、筋力の向上を図る。	
11	個別課題		○ 立位 (立位台等の利用) ◆ 姿勢を保持する力を身に付け、筋力の向上を図る。	
12	(通年)		○ 教具等の操作練習 ◆ 手指の操作性や目と手の協応性を高める。	
1			○ コミュニケーション能力の向上 (個別課題、読み聞かせ等)	
2			◆ 個に応じたコミュニケーション手段の確立を図る。	
3				